

アベ政治を
許さず

参議院議員（比例代表）

2015年9月4日 Vol.13

なたにや正義

安法制関連ニュース



統幕長資料、存否を明らかにせず

本日の特別委員会是一般審議が行われました。民主党からは蓮舫議員、小西洋之議員が質問に立ちました。

まず蓮舫議員は、2日の委員会質疑で仁比議員（共産）が提示した河野統合幕僚長と米軍幹部が会談した内容を記した資料について取り上げ、「この資料の存否は明らかになったか」と質しました。中谷防衛大臣は「防衛省が作成したかも含め、現在調査中である」と繰り返し述べるのみでした。さらに蓮舫議員は「幕僚長と会って、これが本当に幕僚長の発言か否かは確認したか」と重ねて追及したところ、「（幕僚長と）会って話したが、相手方との関係もあり、具体的なやりとりについては差し控える」と答弁を事実上拒否した為、委員会が紛糾。鴻池委員長から「答弁は極めて遺憾」と指摘があった上で、来週7日（月）までに資料の存否について委員長に報告する指示が出され、中谷大臣もそれを了承し、質疑が再開されました。

次に質問に立った小西議員は、元最高裁長官の山口繁氏が報道で、「集団的自衛権の行使を認める立法は憲法違反と言わざるを得ない」と述べ、さらに政府、与党が砂川事件最高裁判決や72年政府見解を法案の合憲性の根拠と説明していることに「論理的な矛盾があり、ナンセンスだ」と批判していることを取り上げました。中谷大臣と横島内閣法制局長官に対して、この発言についての見解を質したところ、中谷大臣は「報道は承知しているが、現役を引退された一私人の発言についてはコメントを控える」と述べ、横島長官も同趣旨の質問に対し「いちい

ちの発言にコメントしません」と答弁を拒否しました。

なたにやの「今日のひと言」

まず統幕長資料の問題について。安法制案が閣議決定も国会提出もされていない中において、米国で法案成立を先取りし述べた問題。一つはおごれる安倍政権の国会軽視。もう一つは、そのことを認識していなかった大臣のシビリアン・コントロールの危うさです。資料の存否の調査は可及的速やかに行われ、国会で明らかにすべきものであるにも関わらず、今日は資料の存否は不明のままでした。

さらに、山口繁・元最高裁長官の安法制案の違憲発言についても、その発言の重さを全く意に介さず、「日本を取り巻く環境が変わった」とか、「一私人の一つ一つの発言に答弁する立場にない」などとかわし続け、議論に全く深まりをもたせる努力が見られませんでした。

今後の特別委・開会予定

次回の委員会は、来週8日（火）13時から参考人質疑を行います。また、9日（水）の一般質疑の開催与党側が要求していますが、現時点では確定していません。

※安保特別委員会での那谷屋の質問機会は決まっておりませんが、決まり次第、このニュース、またはHP、Facebook等でお知らせいたします。

発行：参議院議員 **なたにや正義** 事務所
〒100-8962 千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館409号室
TEL: 03-6550-0409
FAX: 03-6551-0409
masayoshi_nataniya@sangiin.go.jp
<http://nataniya.jp/>